



補欠ゼロリーグは、キッズ年代（10歳以下）の子供たちに「年間を通して定期的に試合ができる環境」を提供するため、2004年にスタートした岩手県独自の取り組みです。  
才能を埋もれさせず、ひとりでも多くの子供たちがサッカーへの関心を持続してくれることを目的としています。

- 【主催】 (公社)岩手県サッカー協会
- 【主管】 (公社)岩手県サッカー協会 キッズ委員会 11地区
- 【運営】 地区キッズ担当者、参加団体指導者、JFAキッズリーダー、ご協力いただける父母の方々など
- 【対象】 少年団・クラブチーム・スクールに所属するキッズおよび準ずるキッズで、傷害保険に加入していること

【内容】 2002年にJリーグ・アカデミー（当時プロジェクトリーダー山下則之氏）が提唱した「補欠ゼロ = 参加するすべての子供たちに均等に試合の機会を提供する」の考え方を基本として、参加団体の対抗戦ではなく、集まった子供たちをシャッフル混成チーム分け（補欠を作らず4~5人制）して、そのチームでその日限りのリーグ戦を戦い抜きます。

- ★ 試合には常にレギュラー選手としてフル出場
- ★ 混成するので団員1人での参加も大丈夫
- ★ 4~5人制でボールに関わるチャンスが多い
- ★ 混成チームの中でプレーすることで社会性を養う



宮古市 花輪地区 ミニ・ゼロリーグ

夏季の部 ダイジェスト









## ■ 宮古市 花輪地区 ミニ・ゼロリーグ 夏季の部 活動結果

【参加団体】 花輪サッカー少年団、花輪学童の家

【運営】 木村 進（県協会キッズ宮古地区担当、花輪）、澤田 豊（副担当、花輪）、鎌澤和之（県協会）

	開催日	カテゴリー	参加人数	会場
1	5月28日（土）	U-8、U-10	14名	宮古市立 花輪小学校 体育館
2	6月25日（土）	〃	18名	宮古市立 花輪小学校 体育館
3	8月27日（土）	〃 & 上級生	22名	宮古市立 花輪小学校 体育館

宮古市の花輪地区にて、試験的に小規模の「補欠ゼロリーグ」をおこないました。今後、少しずつ地域を拡大して、宮古市全体に広がっていったらよいと考えています。

活動では、動きづくり・ボールフィーリング・練習は全員いっしょ、試合は男女別々に分かれておこないました。少年団の子供たちはコーチのヒントを聞きながら集中して練習に取り組みました。学童の子供たちはボール扱いが上手くできず悔し涙をこぼすこともありましたが最後まであきらめずに取り組みました。

試合では、学童の子供たちは少年団の子の迫力に押され、ボールが体に当たる痛みで恐怖感を持つこともありましたが、続けて参加することで3回目の時には自信を持った表情で、考えながら、強くプレーできるようになりました。

活動後は、木村氏と保護者の方が用意した「かき氷」パーティーがあり、みんなでたくさん食べて楽しみました。

鎌澤 和之（県協会キッズ委員会）

